

- ・ 旭川の雑木の伐採、河床掘削を先に行うべき。
- ・ 洪水時に流木が網に絡まる。

1. 旭川全体の河川改修の方法、順序について

河川を改修するには、洪水が起こる確率から計画洪水流量を設定し、経済性、環境及び地域社会への影響から総合的に評価してダム建設や河道改修を最適に組み合わせた洪水処理計画を検討し、事業の効果からみた客観的な優先順位に従い整備を進めます。

旭川の計画流量である旭川下牧 6,000t/s（旭川 4,000t/s、百間川 2,000t/s）を安全に流下させるために今後必要となる対応は以下のものがあると考えます。

百間川

- ・ 砂川築堤
- ・ 河口水門の増築
- ・ 分流部の改築
- ・ 河床掘削（洪水流下能力不足箇所）
- ・ 低水及び高水葺岸の整備
- ・ 百間川橋改築

旭川

- ・ 東西中島町周辺地区対応（築堤・京橋、中橋、小橋の改築）
- ・ 後樂園周辺築堤
- ・ 二日市地区築堤
- ・ クラレ堰の改築
- ・ 河床掘削

この中で百間川を改修し、旭川から百間川への分流量を増やすことは旭川全体の治水安全度を向上させることとなり事業効果が大きいと考えています。

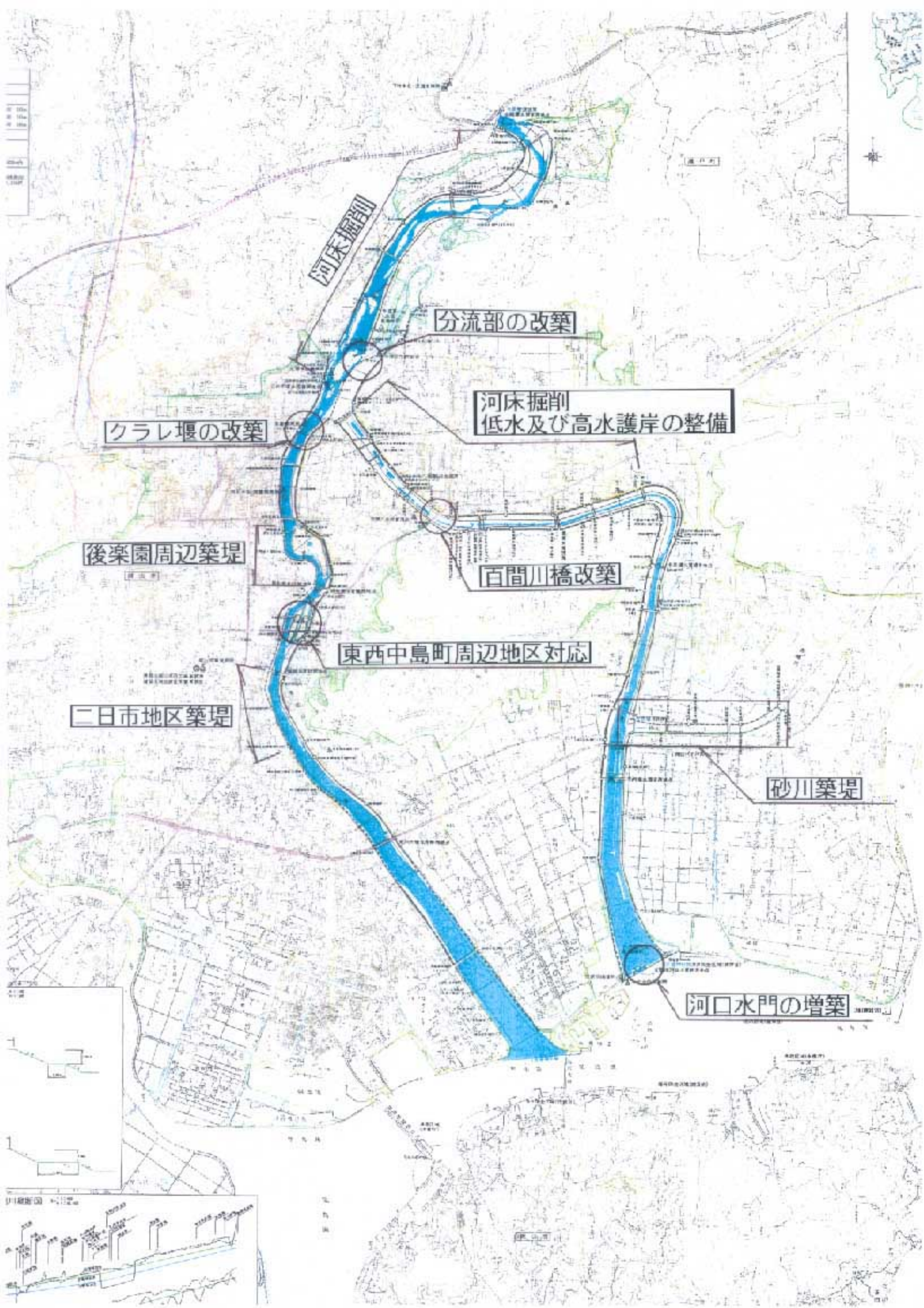
東西中島町周辺地区や後樂園周辺地区の築堤等については、いずれも市街地であるため、整備にかなりの時間と事業費がかかることになるとともに、旭川流域全体で見ると大きな事業効果は期待できないことから優先順位は下がります。

2. 河川内の樹木の伐採について

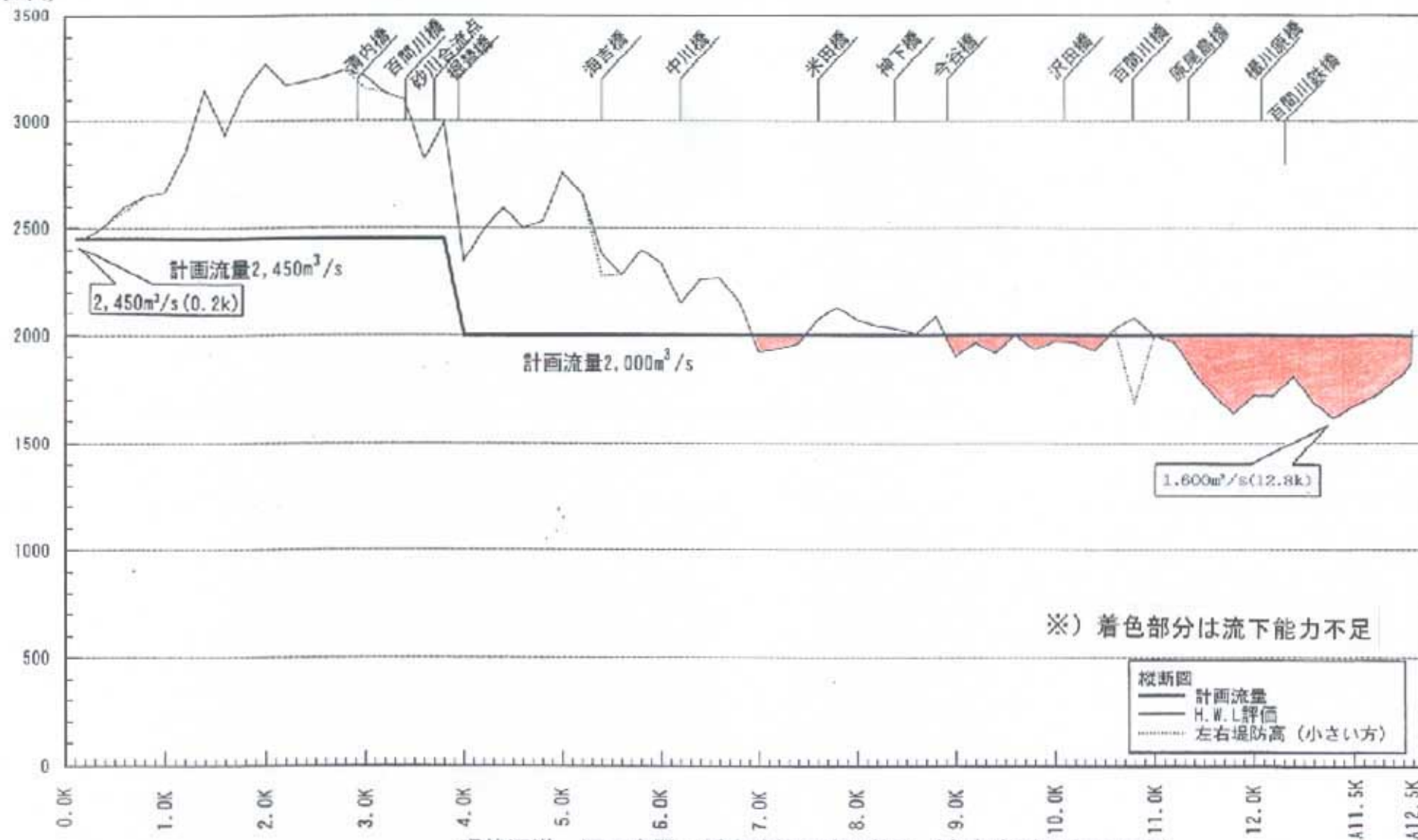
河道内における樹木は、洪水の流勢の緩和などの治水機能、生態系の保全、良好な景観形成などの環境機能などを有していますが、洪水時における水位上昇、堤防沿いの高速流の発生などの治水上の支障となることがあります。

河川内の雑木の処理においては、雑木が治水上等の支障となると認められる場合は、樹木の有する治水機能及び環境機能に配慮しつつ、支障の大きなものから順次伐採していきます。また、樋門等の河川管理施設に対して根が悪影響を与えていると認められる箇所等は早急に伐採していきます。

今後、岡山河川工事事務所として、雑木の伐採についての具体的な検討を行い、必要な部分の伐採を実施していく予定としています。



流量
(m^3/s)



現状河道，河口水門：暫定改築の流下能力（左右岸別の小さい方）
 暫定改築：計画流量流下時の水門のセキ上げをH.W.L.に収める
 出発水位：河口部H.W.L. T.P+2.45m